

「未来を担う子供たちに対し、一体何ができるのか」を定期的に情報発信している連載です。

今月のテーマ「4月2日は世界自閉症啓発デーです」

世界自閉症啓発デーとは、全世界の人々に自閉症を理解してもらい取り組みです。

「自閉症」についてみなさんはご存知でしょうか？

自閉症の方はとても純粋です。自分の感じのままに行動したり、話をしたり、興味やこだわりが強いので、様々な分野で興味を追求し、活躍している方もいます。感覚(聴覚・触覚等)がとても優れている方もいます。

しかし、苦手なこともあります。それは「他者のしぐさや表情から感情を読み取ること」、「言葉を耳で聞いたり文字を読んだりすること」などです。その行動に周りの人達が理解できないこともあります。そこから「誤解」や「偏見」も生まれます。

自閉症は決して愛情不足や育児の方法が間違っていたから起こるものではありません。自閉症の原因は、脳の発達の違いと言われています。

自閉症の方と想いを伝え合うためには、その方の知っている言葉で話をしたり、絵や写真などを使って表現したりすることで、お互いの理解が深まります。

自閉症の方が生きやすい社会になるよう、周りにいる人々が自閉症に対する理解を深め、皆で一緒に考えていきましょう。

保健師は、電話相談、家庭訪問、子育て相談室、保護者の会(すまいる広場、ちち☆ははサポートクラブ：広報紙4月号P15参照)も行っていきます。お気軽にご相談ください。

■問合せ 保健福祉課 ☎ 47-8007



地域包括支援センターです

■問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎ 45-1170
 // 河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎ 48-2260

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていただけるよう介護・福祉・保健・医療などの様々な面から総合的に支援する機関として設置されています。

本町では、これまで保健福祉課内に直営1箇所と今庄・河野地区にサブセンターが設置されていましたが、4月からはサブセンターが「南越前町社会福祉協議会地域包括支援センター」として運営を開始することとなりました。

町と社会福祉協議会のセンターが連携し、さらにきめ細やかに、保健師、ケアマネジャー(介護支援専門員)、社会福祉士等が中心となって、様々な専門家や専門機関とも連携しながら、地域で暮らす高齢者とそのご家族の暮らしをサポートさせていただきます。

身近な地域の総合相談窓口として、お気軽にご利用ください。*相談内容に関する秘密は厳守いたします。

一人暮らしだけでこの頃家事をするのがしんどい…

最近足腰が弱って転ぶことが多いんだけど…

おばあちゃん、最近物忘れが多いんだけどどこへ相談したらいいのかな？

家庭で介護している者同士、話したいなあ…



病院から退院といわれたけどやっていけるか心配…